



議会だより

第107号

2020 令和2年4月23日

3月定例会

もくじ

令和2年度当初予算	2
当初予算目玉事業	4
予算審査特別委員会	6
3月定例会	8
全員協議会	10
議会のうごき	11
一般質問(6人が町政をただす)	12
委員会視察	19
政務活動費報告	19
みんなの声	20

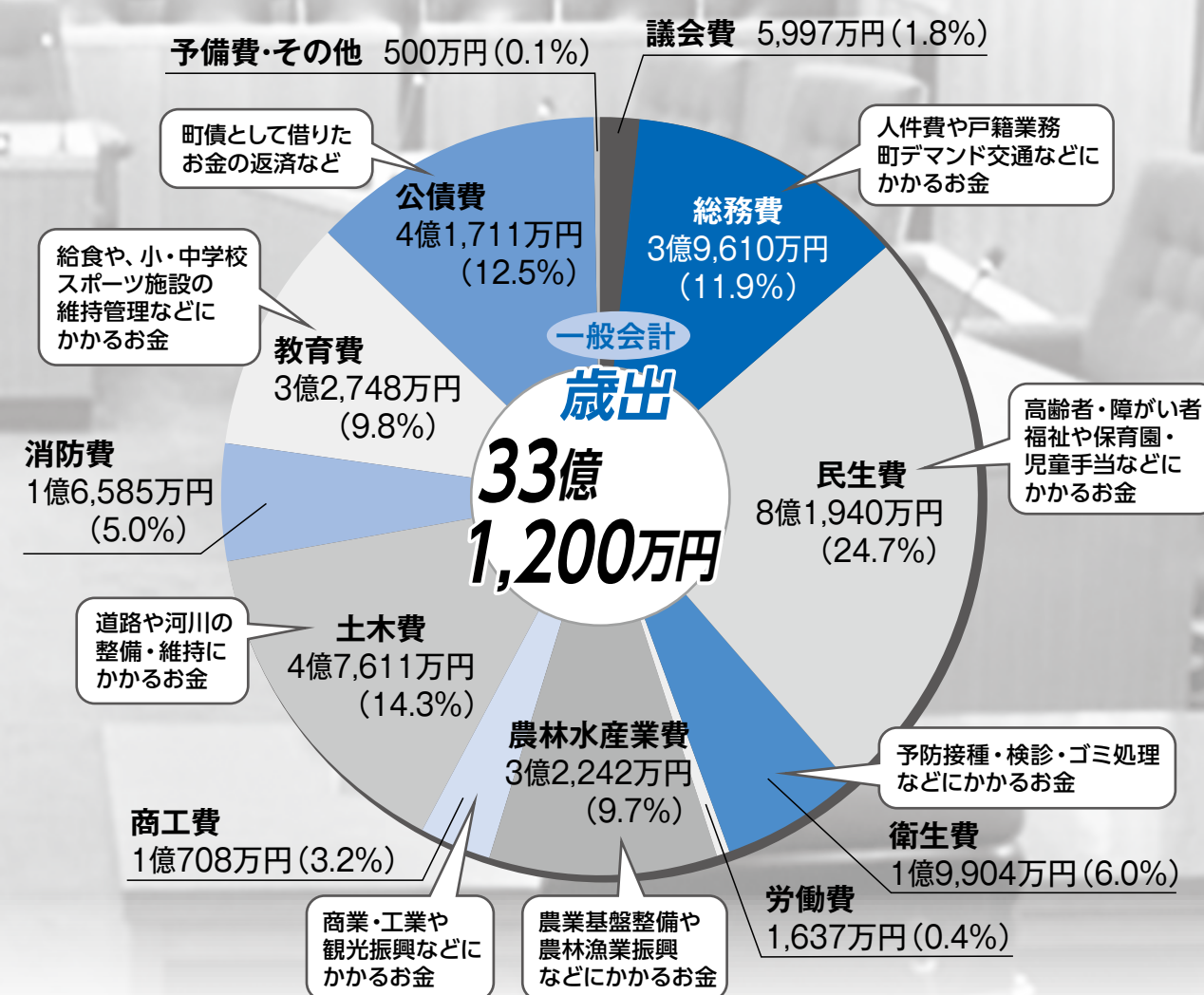
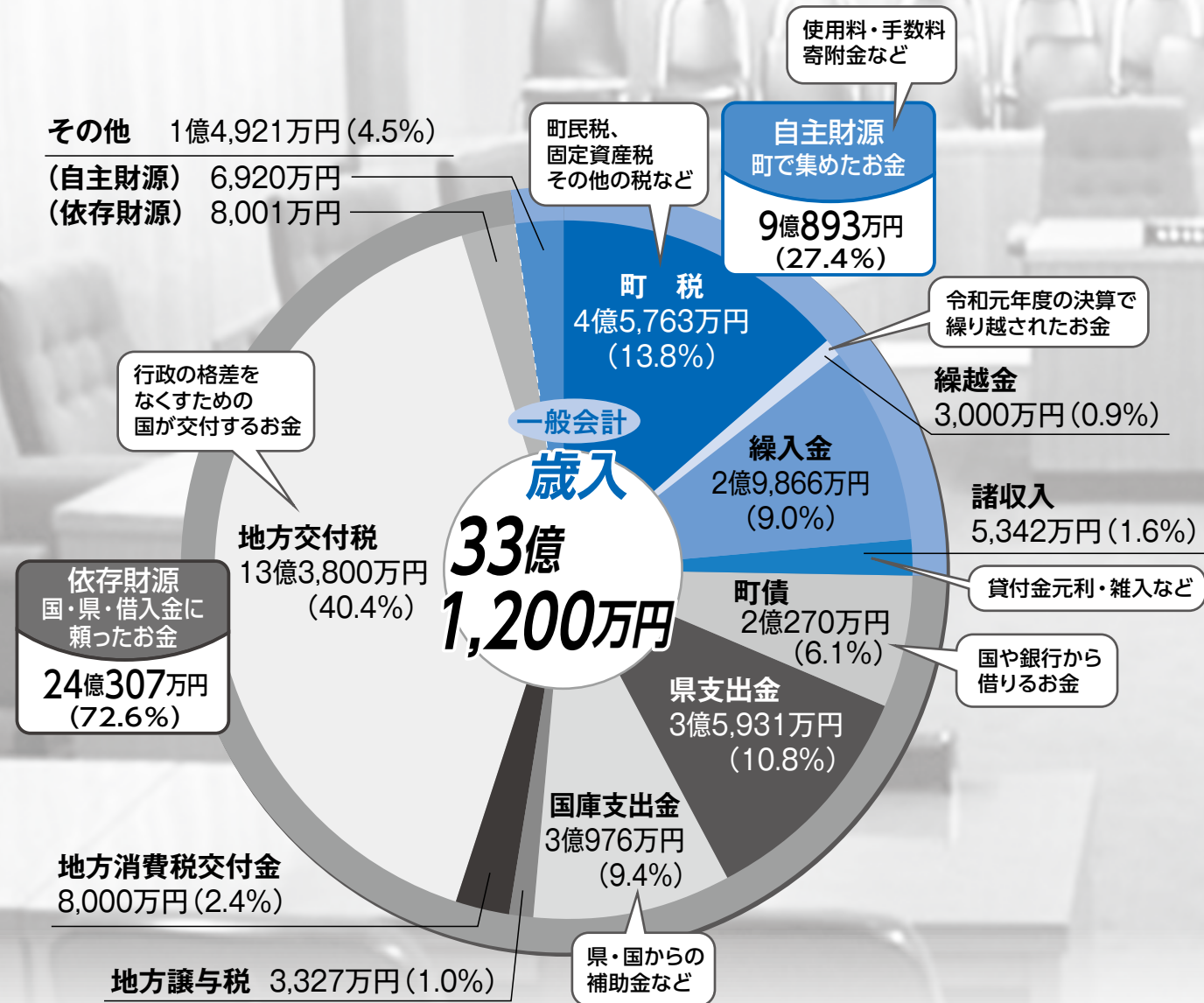
**コロナに負けずに
がんばろう!**

地域おこし協力隊参上

議会だより
QRコード



「子育てのまち 出雲崎」充実へ!



令和2年度当初予算合計は **50億6,150万円**
(前年度比▲0.6% 3,100万円減)

一般会計 **33億1,200万円** (前年度比 0.7% 2,400万円増)

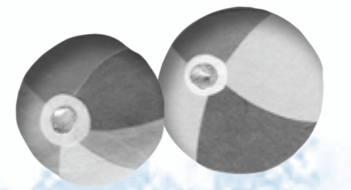
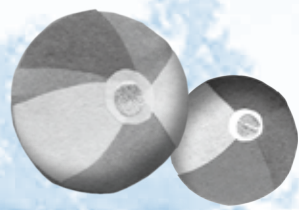
特別会計 **17億4,950万円** (前年度比 △3.0% 5,500万円減)

※千円未満切り捨てのため、合計と一致しません。

特別会計

(▲は減額)

会計名	令和2年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	5億 440万円	▲ 8,260万円	▲14.1%
介護保険事業	6億4,000万円	▲ 2,200万円	▲ 3.3%
後期高齢者医療	6,570万円	440万円	7.2%
簡易水道事業	1億8,290万円	510万円	2.9%
特定地域生活排水処理事業	1,250万円	110万円	9.6%
農業集落排水事業	1億2,280万円	1,070万円	9.5%
下水道事業	1億9,940万円	4,150万円	26.3%
住宅用地造成事業	2,180万円	▲ 1,320万円	▲37.7%
合計	17億4,950万円	▲ 5,500万円	▲ 3.0%



『第2期出雲崎まち・ひと・しごと創生総合戦略』始動

幅広い層から「選ばれる町」として環境整備を進める ～住んでいる人が幸せを感じられる町、人が住んでみたくなる町を目指して!～

若い世代の希望をかなえる町づくり事業

- 町新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援補助金 … 800万円
町に住み続けたい若者世代と移住を含めた定住人口の増加を図るため、住宅の取得およびリフォーム工事経費の一部を補助
- 町保育料無償化事業 …… 415.9万円
0歳から2歳児までの保育利用料を無償化し、国の施策とあわせ0歳から5歳児の保育利用料を無償化
- 子どもの医療費助成 …… 1,165.7万円
0歳から18歳に到達する年度の最初の3月末日までの子どもの医療費を助成
- 産前産後ヘルパー派遣事業助成 …… 8.4万円
体調不良等により家事を行うことが困難であったり、家族から十分な家事支援を受けることができない妊産婦が家事支援を利用した費用の助成

様々な人が関わり、訪れ、交流する町づくり事業

- まち・生活・交通先進連携事業(トリトンプロジェクト)委託料 … 250万円
「健康と交通」をテーマに安全・安心なまちづくりに向け、世代を超えた取組を、産官学が連携して行うため新潟大学への業務委託
- 地域おこし協力隊活動サポート業務委託料 …… 157.3万円
円滑に地域で活動できるよう、地域おこし協力隊の活動をサポートする業務委託
- 観光ルート構築発進事業委託料 …… 650万円
良寛をはじめ町の歴史や風景、人との交流などを組み合わせたオリジナルストーリーによる新たな周遊ルートを構築し、情報発信を行う事業
- ふるさと納税促進事業 …… 135万円
ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の寄付を促進するためのPR活動経費
- 良寛記念館魅力度アップ関連事業 …… 685万円
良寛記念館等を会場に事業を実施し、マスコミ等のPRを積極的に行い、良寛記念館の魅力の発進と集客を図り、出雲崎・良寛を発信しながら地域交流を深める事業

施政方針

3つの最重点施策(要旨)

- ①若い世代の希望をかなえる町づくり
 - ・若者の地域定着、U・Iターンを促進するための子育て・仕事・住宅等の支援
 - ・0歳から2歳児の保育利用料を無償化
 - ・家事を行うことが困難な妊産婦に対して家事支援費用を助成する子育て支援
- ②様々な人が関わり、訪れ、交流する町づくり
 - ・多世代交流、大学等と連携し、健康と安全な町づくりを推進
 - ・地域おこし協力隊制度を活用し、地域の魅力を掘り起し、町の総合的な情報発信
 - ・企業版ふるさと納税を新たに活用し、総合戦略事業の促進
 - ・地方創生推進交付金事業を展開することによる交流人口、関係人口の増加
- ③地域の資源を活かした魅力ある町づくり
 - ・地域資源を活かし、歴史、文化、魚・米等の特産品の磨き上げ
 - ・空き家を有効活用した「町家暮らし住宅」の整備
 - ・町の食文化の後継者育成と、体験型観光メニューを創出する「食の伝承事業」の実施

施政方針・・・政治を行うときの方向。政治の目的・方向・理念など。

地域の資源を活かした魅力ある町づくり事業

- 町家暮らし住宅改修工事 …… 660万円
平成20年度に寄附を受けた住宅を改修する町家暮らし住宅（町営住宅）1棟の整備事業
- ふるさと交流広場整備工事 …… 687.5万円
旧内藤医院診療所解体跡地を、イベント機能等を有した「ふるさと交流広場」として、雁木や東屋を備え、妻入り町家に配慮した景観整備
- 出雲崎まるごとオーナー実行委員会負担金 …… 230万円
釜谷梅やコシヒカリの収穫体験、美食街めぐりへの参加等により、出雲崎の魅力を伝え、広げる事業
- 食の伝承支援事業 …… 70万円
町の食文化の後継者を育成し、その食文化を他地域の人に体験してもらう体験観光メニューをつくる事業

ここが聞きたい!!



中野 勝正 委員長

3月定例会

予算審査特別委員会

令和2年度一般会計・特別会計(8)は予算審査特別委員会に付託され、審議の結果、全会一致で可決しました。
委員会での主な質疑内容を掲載します。

予算審査特別委員会

地域・暮らし

移住支援事業支援金

について

160万円

諸橋議員

東京23区から出雲崎町に移住し、中小企業等に就業した場合、移住支援金を支給すると言う事だが東京23区外はどうか。

総務課長

直近10年間で、通算5年以上、東京23区に在住または、通勤しているものに支給するため、東京23区外は認めない。

インターネット

通信料

14.7万円

加藤議員

通信料についての内容や、内訳はどのようなになっているか。

総務課長

ふるさと交流住宅舩太さんと旧新津邸で、2件分の一年間にかかる通信料を計上した。

旧津又商店外観 修景工事について

220万円

加藤・中川議員

県の補助金100万円、一般財源120万円を使い、旧津又商店の外壁等を景観に合わせて、改修をどのように考えているか。

総務課長

店の一室だけ見ていただけるように、景観にあわせて改修する。

ふるさと交流広場 整備工事

687.5万円

三輪議員

街並みの景観上は、いいと思うが、駐車場が使えなくなるのが問題だ。

総務課長

あずまの所から出入りが可能である。



ふるさと交流広場
(旧内藤医院跡地)

ふるさと納税寄附促進謝礼 及び納税応援隊旅費

各50万円

中川・三輪・高橋議員

謝礼と旅費についての内容は。

総務課長

町長がトップセールスをする中で、ふるさと納税応援隊を作り議員や町民の皆さんから応援に入っていただき、会社を経営している企業のトップのところに外向きPR活動をするための旅費と謝礼である。

三輪議員

返礼品の品物を増やす考えがあるか。

総務課長

新たに地元企業の段ボール製品や木工製品などを考えている。

ドローン操作講習料

18.2万円

安達・仙海議員

何人を講習させるのか、また、町として、ドローンを購入する計画だが共済組合がもっているドローンを考えているのか。

総務課長

講習者は新たな地域おこし協力隊1名分を考えている。共済組合がもっているドローンより、性能は落ちる。

外灯LED 整備費補助金

36万円

小黒議員

どのような補助金の内容か。

総務課長

外灯LEDの整備費補助金は、各集落からの要請により行っている。上限3万円で、補助率は2分の1。令和2年度は15件を計上している。

空調用冷却水ポンプ 取付工事

96.8万円

加藤議員

ふれあいの里の取替工事を計上されたが、どのように判断したのか。

保健福祉課長

設置から20年以上経って不具合があり、計画的にポンプを取り替える。

保健福祉関係

広域入所認定こども園
利用料

346.5万円

高桑・中川議員 1人当たりのこども園利用料給付費が園で単価に差があり、町内外で差が大きいのはなぜか。

保健福祉課長 施設によって運営費に差があり、全体に見合った金額で町に請求が来ている。所得により多少差があるが、国基準の保育料を計上している。

産前産後ヘルパー
派遣事業助成

8.4万円

高桑議員 産前産後うつつの問題がいわれているが、この事業の詳細内容はどうか。

保健福祉課長 ケアについてはなかなか難しいと思われるので、町外の専門の業者をお願いする。2名分の予算を計上した。

児童遊園借地料

18.6万円

三輪議員 どの場所の借地料か。

保健福祉課長 八手改善センター脇の児童遊園である。



八手児童遊園

小・中教育関係

パソコン保守点検
委託料

27.5万円

加藤議員 先生から、パソコンの保守点検をしてもらったらどうか。

教育課長 何か問題が起きたら困る。安全性を考え、専門の業者に依頼する。

観光商工関係

出雲崎まるごとオーナー
実行委員会負担金

230万円

中川議員 現在20組で大変好評である。組数を増す工夫を考えるべきである。

産業観光課長 梅組合や、関係者の皆様方と話し合いをする。

観光ルート構築
発信事業委託料

650万円

高桑・中川議員 内容と事業規模はどのようになっているか。

産業観光課長 良寛を始めとする町の歴史や風景・人との交流などを組み合わせたオリジナルストーリーによる新たな周遊ルートを構築し、情報発信を行いたい。

土木・消防関係

町営住宅用地買収費
(大門町営住宅、
米田町営住宅)

2786.6万円

加藤議員 大門町営住宅、米田町営住宅の買収の金額に、差があるが妥当なのか。

建設課長 令和元年に不動産鑑定士から調査していただき、算定基準にした。



大門町営住宅

除雪機械格納庫 建設工事

1080万円

小黒・中川議員 この格納庫の見積もりは、高い金額と思うが、どのように見積もったのか。

建設課長 木造の見積が1千300万円、プレハブの鉄骨が1千80万円であったため、プレハブの鉄骨にした。

歳入全般について

加藤・高橋議員 厳しい財政の中で町として歳入をどのようにとらえているか。

町長 あらゆる機関を通して国・県に働きかける。町として就労する人を確保しながら、企業から法人税をいただけるように、取り組まなければならない。



予算審査特別委員会

3月定例会

議案26件を全会一致で可決

会期

3月6日～13日

(8日間)

国の補正予算に伴い

県営中山間地域総合整備事業負担金追加(八手地区)

200万円

地籍調査業務委託料追加(沢田第2計画区)

277万円

3月定例会で決まった補正予算

(▲は減額)

会 計		補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第6号)		▲ 3,654万円	33億8,430万円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第3号)	▲ 5,063万円	5億6,542万円
	介護保険事業 (第3号)	▲ 1,213万円	6億8,698万円
	簡易水道事業 (第4号)	114万円	2億0,644万円
	農業集落排水事業 (第2号)	▲ 106万円	1億1,161万円
	下水道事業 (第4号)	24万円	1億6,008万円
	住宅用地造成事業 (第1号)	▲ 267万円	3,232万円

一般会計補正予算(第6号)

主な歳入

- ・地方交付税普通分追加 9,816万円
- ・県営中山間地域総合整備事業
分担金(八手地区) 200万円
- ・財政調整基金繰入減 ▲17,839万円
- ・市町村振興宝くじ市町村交付金追加
市町村振興協会基金交付金 537万円
- ・前年度繰越金追加 4,633万円
- ・住宅用地造成事業特別会計繰越金減 340万円

主な歳出

- ・町デマンド交通運行費補助金追加 71万円
- ・保育園保育実施委託料追加 870万円
- ・ふるさと就職支援商品券利用助成金減 ... ▲120万円
- ・町民有林造林事業補助金追加 101万円
- ・プレミアム付商品券事業費補助助成金減 ... ▲370万円
- ・施設修繕料追加(小木町営住宅) 44万円
- ・施設修繕料追加(中学校屋内壁面補修) ... 38万円
- ・町民野球場外野整備工事 88万円

陳 情 (審査結果/不採択)

陳情第1号

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択に関する陳情

不採択理由

最低賃金を一律に1,500円に上げるとしているが、企業側にとって費用がかかり、中小企業の経営を圧迫するとともに、雇用を切ることも懸念される。現段階では、経済状況を見ながら、徐々に賃金を上げていく方向が良いのではないかと。

町の条例を改正する条例制定について(議案第8号～14号から主なもの)

議案第11号

出雲崎町公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

海岸公民館の夜間の開館時間を午後8時までと変更を行い利用料を改めるもの

議案第13号

出雲崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

国の子育て支援法の一部改正・内閣府令の一部改正施行を受けて改正するもの
食事の提供に要する費用の取り扱いの変更及び減免対象者を特定するもの

人 事
案 件

監査委員の選任に同意

石川 豊氏(羽黒町)

(令和2年4月1日から4年間)



ここが聞きたい!!

3月8日

補正予算質疑

主なもののうちから抜粋して掲載しています

町住宅用消火器 設置助成金減

▲50万円

小黒議員 当初、575世帯が65歳以上で対象であるとの説明

町民課長 主なものは仮設トイレの減で、エコパーク工事の終了が主な要因である。

三輪議員

減額の理由は何か。

し尿収集 運搬委託料減

▲19万円

町民課長 当初65人の対象者だったが、退職や転出により60人となった。今後更なるPRにつなげる。

小黒議員 良い制度であり、利用者をもっと増やすべき。

ふるさと就職支援 商品券利用 助成金減

▲120万円

総務課長 当初予算では150件を予定して広報に努めてきたが、1月末までで32件に留まっている。新年度はこの状況を踏まえて、制度の見直しを行っている。

であったが、減額理由は何か。希望件数が少ないのであれば、65歳以下で希望する声も聞かれており、対象を拡げてはどうか。

まち恋お見合い 婚活応援業務 委託料減

▲11万円

中川議員 今、大変力を入れなければいけないところであるが、なぜ減額される事態になるか。町はどのような関わりで行ってきたか。

総務課長 町外の事業所への

空家等対策協議会 委員報酬減

▲26万円

中川議員 会議回数による減額と聞く。どのように空き家を減らしていくかの検討をすべき。傷みが進む前なら、リフォームして直ぐに使えるものもある。早い段階で活用できるように対応して欲しい。

利用にかかる経費を町が助成するもの。PRに努めているが、今回、実績に基づいて減額となった。

総務課長 空き家等特措法に基づく法定の協議会であり、特定空き家等の認定を行う。具体的な空き家の活用計画については、庁内会議が中心となつて進めており、この対策協議会で意見を聞いている。

天領の里防犯カメラ 借上料減

▲19万円

中川議員 どのような理由での減額か。早く判つたのであれば、12月で補正すべき。

産業観光課長 8月更新時、安くて高性能のもので対応でき、請負差額である。

「議員なり手不足委員会」についてのご報告

この委員会で議員のなり手不足を検討しているの？

3期連続の無投票選挙を防ぐために、昨年の6月に発足し、会議で方向性や具体案を検討してきました。会議だけでなく、昨年度の出まえ議会では、一つのテーマとして皆様からのご意見を頂戴し、それを基に、具体策を検討しました。

議会がこういった活動をしているか、議員がどのように仕事をしているか分かりにくいというご意見も多く、議員自身が研鑽を積むと同時に、町民の皆様にご理解いただくために、今年は次の事を予定しています。

具体策は
何をするの？

① 「出まえ議会」の充実

秋頃の予定で、開催する箇所を増やして、皆様のご意見を伺いたいと考えます。

② 「議会サロン」(仮称)の実施

陽だまり情報館や妻入り会館で、月1回程度、複数の議員が常時お待ちし、どなたからでもご意見をいただいたりご説明させていただいたりする機会を設けたいと考えます。

詳しくは、決まり次第、チラシ・広報等でご案内させていただきます。

全員協議会

主なものから

抜粋して掲載しています

第1回 1月28日(火)

第二期出雲崎

まち・ひと・しごと総合戦略の概要について

総務課長 2025年に人口

3000人を目標とするため、直近の5年間は、3つの基本目標を目指していく。

①若い世代の希望をかなえるまちづくり

②様々な人が関わり、訪れ、交流するまちづくり

③地域資源を活かした魅力ある町づくり

この基本目標をもとに各戦略事業が構成されている。

高橋議員 戦略事業は、担当課

に複数、課されている。評価されると、限られた人しかスポットライトが当たらない。その辺りはどうするのか。担当だけがやるのではなく、一丸となってやるほうが良いと思うが、どう考えるか。

総務課長

建設課や産業観光課が所管する事業が多く記載されている。その上に、総合計画という計画があり、その中に各課を構成している計画全てが網羅されて、この町を構成している。

町長

「ご配慮いただいた発言とお気持ちをしつかりと受け止めていく。出雲崎町の基本方針は位置付けし、具現化し実現していく。」

副町長

小さな町で、職員数が少ないので総力戦となる。特定施策室という規則を作り、課の職員・特定施策室を兼務することで職員に辞令を出している。今回の総合戦略も職員全員で取り組んでいく。

三輪議員

事業費はどこから捻出するのか。今までのものを検討し、縮小や廃止も考えてもらいたい。ふるさと納税は、目標金額1億円を掲げるべきではないか。

町長

総合戦略で事業費は相応な経費がかかり、保育料無償化等、財政不足で数年で事業をやめて元に戻すということは

あつてはならない。新たに企業版ふるさと納税は、数値目標を出しているの、真剣勝負をかけていく。

中川議員

出雲崎まるごとオーナーは、非常に人気がある。20組の募集は現状維持の数値である。梅の木がネックになっているとのことだが、工夫して増やせないか。

産業観光課長

梅の収穫が非常に人気で、外せない事業である。敷地内で新たに植え付けることもないということで、オーナーを広げるところまで進んでいない。直近5年間は、梅の木を植えて収穫できる状況になく、現状のままでいきたい。

中野議員

当町は2025年において、人口3000人を維持すると述べている。戦略委員が33名いるが、皆さんが共有し、この人数を維持しようと思っているのか。

総務課長

計画を立てる事が会の目的ではなく、町民と共有して実施することが大事だ。毎年評価・チェックして、翌年の行

動につなげる。この中のいくつかは委員からの提案であり、委員や町民が理解してもらえそうな活動をしていきたい。

加藤議員

刈羽村は、「マメだね健康ポイント制度」という事業を行っている。ポイントが貯まると商品券等が出る仕組みになっている。3000人をキープするために、高齢者が健康で生活をしていくことも、プラスの条件になると思うが、どう考えるか。

総務課長

その意見は、今回の計画の中で議論に入ってこなかった。総合戦略は、毎年評価して見直しを行うので、計画が始まった段階で日々見直しを行い、次の計画に結びつけていく。

海岸地区空家等

再生まちづくり事業に関する整備方針について

総務課長

昨年度、出雲崎町空家等対策計画を策定し、空き家対策を総合的に進めている。

元年度は、尼瀬の町家暮らし住宅や諏訪本町の四季彩小路、岩船町の防火水槽、羽黒町の歴史や五郎兵衛等の空き家空地を改修または活用の事業計画を進めてきた。

加藤議員

石井町や、尼瀬1区の町有地は、一番の目的は子育て世代の誘致だと思うが、都会暮らしをする高齢者向け住宅としても考えてはどうか。

建設課長

若い方の応募がなく、都会で健康な高齢者の応募があれば、年配の方の同居も可能な住宅で準備をしていく。

令和2年度 出雲崎町
デマンド交通「てまりん」
運行計画について

総務課長

デマンド交通「てまりん」運行計画案については、定期路線バスの減便が示され、一部を変更している。運行時間は、午前8時便から午後6時便、30分ごとで21便である。

高桑議員

蓮花寺18時37分着に、ライナー便を設定していないのはなぜか。

総務課長

2便しか運行できない制約がある。運行の無い時間帯で中永からライナー便を走らせ、出雲崎へ来れるように計画した。

地域おこし協力隊員の委嘱について

総務課長 地域おこし協力隊に、坂東拓哉さんから就任いただくことになった。

加藤議員 問題を見つけ、発信要素や魅力をユーチューブなどに発信する等、何かがほしい。

総務課長 坂東さんは、以前IT系の会社に勤めておられ、知識が豊富で新津邸をSNSで発信し、反響があったとのことである。

出雲崎産コシヒカリ新ブランドのネーミングについて

産業観光課長 応募総数は、1004件で、慎重審査の結果、1月9日名称を決定した。名称は「出雲崎の輝き」である。

第2回 2月18日(火) 町有地の売却について

総務課長 町では空家等対策計画に基づき、空き家空地の利活用を進めている。その中で、町が活用できない物件は売却して、民間から有効活用してもらおうと進めている。

この度、2件の売却を進めたいと思っている。

小黒議員 申し込み資格は、町内に住所を有する法人や個人ということ、できれば町外者も対象にして、町で宅地分譲しているように、売却後何年以内に別荘や居住を建てるという方がいいのではないか。

総務課長 期間中に契約成立しない場合は、そういう事情を踏まえ、売却内容を再検討し売却を進めたい。

マイナンバーカードの普及促進について

町民課長 本町の交付申請状況は、2月2日現在583人である。未申請者には、交付申請書を送付した。地域での総会や常会の際に、説明に伺う。区長を通じて集会所を会場に出張申請も行う。

安達議員 カードが写真付きになるが、更新などはあるのか。更新がある場合は案内が届くのか。

町民課長 カードの有効期限が

10年間となっており、次の更新の10年後には、新たに写真を撮っていただく形になる。更新時には期限前に確実に通知が届く。

長岡市北部斎場整備事業について

町民課長 長岡市では与板斎場、寺泊斎場の老朽化に伴い、長岡市和島地区に新たな斎場を建設する運びとなり、本町も建設費の負担を行う。令和2年度に着工し、令和10年度に供用開始の予定である。施設規模は、火葬炉3基で、施設事業費は13億円と示されている。

町社会福祉協議会の職員体制について

保健福祉課長 4月1日から神条在住の佐藤巖さんに新しい事務局長として、お勤めいただくことになった。

加藤議員 新しい事務局長には、町民目線で色々な形で対応していくことを心掛けてほしい。

町長 社会福祉協議会は、色々な方と付き合いがあるので、事務的なことより、対外的な人との接し方が大事であると、強く申し上げた。新局長以下職員

に、意思を伝えて遺漏のないようにやらせてもらう。

第3回 3月13日(金)

新型コロナウイルス感染症への対策について

総務課長 マスクは約9000枚の備蓄があり、これまでに配布した数は、町施設・児童クラブ等に約500枚、町内2医療機関に250枚である。おおむね20人以上が集まる会議は、中止または延期となることもあるので、ご承知をお願いしたい。

ひまわりハウス等の家賃減免の取扱い 新生活スーパー住まい取得 リフォーム支援補助金 交付要綱の改正について

建設課長 ひまわりハウス等の家賃減免は、4月から町内の転居であつても出来るように改正する。

スーパー住まい取得・リフォーム支援補助金は、事業費によつて階段状の補助金制度に変化するものに変更する。

議会のうづき (主なもの)

令和2年1月～3月

- | | |
|-------|--|
| 24 | 議会報特別委員会
(議会だより第107号)
↓詳細はp11 |
| 13 11 | 定例会最終日
全員協議会 |
| 10 | 予算審査特別委員会
議会運営委員会
(一般質問)
定例会2日目 |
| 9 | 社会産業常任委員会
総務文教常任委員会 |
| 3・6 | 3月定例会招集日
↓詳細はp8 |
| 27 | 議会運営委員会 |
| 19 | 総務文教常任委員会視察
↓詳細はp19 |
| 18 12 | 議会運営委員会
全員協議会
↓詳細はp11 |
| 29 | 社会産業常任委員会視察
↓詳細はp19 |
| 28 | 全員協議会
↓詳細はp10 |
| 8 | 議会報特別委員会
(議会だより第106号) |
| 1・7 | 議長会議(新潟市) |

1 加藤 修三 議員



質問項目

1. 激甚化する自然災害の状況を踏まえた防災、減災の再見直し

🔍 13ページ

2 高橋 速円 議員



質問項目

1. 施策のメディア対策及び効果について
2. 共同通信社・全国自治体アンケートについて

🔍 14ページ

3 三輪 正 議員



質問項目

1. ゼロカーボンの町実現を

🔍 15ページ

一般質問 ～町政を問う～



4 小黒 博泰 議員



質問項目

1. 町長の考える「トップセールス」とは

🔍 16ページ

5 安達 一雄 議員



質問項目

1. 新型コロナウイルスの町内感染対策について

🔍 17ページ

6 高桑 佳子 議員



質問項目

1. 町長のトップセールスは何かを目指すのか

🔍 18ページ



加藤 修三 議員

激甚化する自然災害から 身を守る！

町長

自分の身は自分で守るが 大鉄則！

絶対に災害犠牲者を出さないためにも避難訓練による疑似体験の強化を

加藤 当町は常に津波や洪水などの災害に備えた避難訓練を実施しているが、参加者が少ない。災害時の避難対応がスムーズに行える様、多くの人が身をもつて体験し、災害時に役に立つてもらうためにも、多くの人が参加してもらうことが重要と思うが考えを伺う。

避難の必要性を 求めている

町長 町民各位の協力をいただいて避難訓練を行っているが、参加する人は非常に少ない。避難していただきたいことをいろいろな場面で申し上げているが、町民一人たりとも犠牲を出さないためにも更に末端地域、集落に入って理解をいただくよう努めていく。

複雑でわかりにくい 避難情報

加藤 避難指示・避難勧告やレベル3、4など大雨の際には多くの防災情報が出されるが正確に理解して

いる人は3割もいないと言われている。速やかな避難対応をとるために分りやすい避難情報をどのように出しているか伺う。

避難は避難レベルの 素早い情報キャッチで 先手必勝対応

町長 避難レベルなど書いたものや、制度など理解していただけない方にも行政として創意工夫を講じながら万全を期す。

防災無線体制

加藤 安全安心に暮らすためにも正確な災害情報が防災無線放送で聞き取れない集落があったが現状を伺う。

十分な処置をした

町長 防災無線が聞き取りにくい八手、田中方面であったが、ほとんど改善した。何かありましたらお聞かせ願いたい。

町管理の中小河川や 排水路の機能は万全か

加藤 昨年の台風19号では各地で川の氾濫や土砂災

害で甚大な被害が出た。堤防決壊の6割は想定区域外で土砂災害の3割が警戒区域外であった。

当町も雨が降ると川や側溝が溢れ道路の冠水がほぼ同じ場所で見られるが、町管理の河川機能を生かすため雑木の伐採、河床掘削で河川や側溝の溢水を防ぐ管理体制について伺う。

定期巡回と地域からの 報告をいただき 対応していく

町長 春先の河川巡回や大雨が降った後の災害有無の確認をしており、県管理の河川については、災害が起こりえる可能性のところは県に改善要望しており、普通河川等で災害等が発生したときは直ちに対応に努めている。

避難所などの 非常用電源は万全か

加藤 昨年台風15号で大停電が起き、避難所など住民支援拠点で電源の備えが不十分であった。避難時の人命救助で重要とされる72時間以上稼働できる非常用電源確保の自治体は4割であり当町の対応状況を伺う。

非常用電源は万全

町長 常に長時間発電できるよう対応する。自家発電設備は役場、公民館各改善センターに、他に可変型発電機も保有し、稼働72時間を超える発電機を設置している。

ふれあいの里は 災害時でも入浴など できるように

加藤 災害等停電でもふれあいの里で入浴や家庭で使う医療機器が使える電力供給をふれあいの里隣の東京電力災害対策支援拠点に太陽光発電と蓄電池設置要望をできないか伺う。

要望する

町長 災害時対応の機器等については東電に要望し、町が活用できる体制を整えていきたい。



避難訓練の様子

全国自治体アンケート 避難所の設備など、 どう回答したか？



高橋 速円 議員

町長

可能な限り対策している

高橋 共同通信が昨年秋に実施した全国市区町村対象のアンケートに、景況感や避難所についてどう回答したのか？

町長 担当が昨年回答しているが、景況感は変わらない、と回答した。また避難所についての改善すべきもの12個からの選択は、更衣室や授乳室設備、段ボールベッド、簡易ベッドの配備増備を回答した。

高橋 TKBという言葉がある。Tはトイレ、Kはキッチン、Bはベッド。避難所ではこの三つの改善が急務とされている。内閣府もそれを支援している。町は特に段ボールを配備する必要がある。

町長 吉沢工業さんと協力し体制を整えたい。

災害時にトップがなすべき24ヶ条をご存じか？

高橋 近年の大災害を経験した首長がまとめた、所謂「トップがなすべき24ヶ条」に日頃から住民と対話せよとある。危機に際し事前に理解を得ることの必要性を説いている。町民との

対話、いつまでにやるか？

町長 タイミングを見計らい、やる。

高橋 次の3点を提言する。

- 1、行政にも限界があることを町民に率直に伝える。
- 2、職員も人だ。一時撤退もあることを伝えておくべきだ。
- 3、過疎法が切れるが議員立法に財政力指数に関する特別措置を附則に盛り込むべきだと要望すべきだ。

町長 これから要望段階に入る。

町の避難所は みな弱点がある！ 認識を共有すべきだ！

高橋 昭和36年の大災害で町では13人が亡くなり、橋が流され、134戸の住宅が全壊した。この時の降雨量は最大時で79・8mmと聞く。いま100mmの最大時降雨量の時代だ。一刻の猶予もならない。しかも町の避難所は弱点がある。この意見にどう思うか？

町長 次の段階を迎えている。

なぜ同じ施策を講じながら、 出雲崎町は注目されないのか？

町長

有効に施策を講じ 初期の目標は達成している



昭和 36 年集中豪雨
島崎川が氾濫した

高橋 メディア対策について伺う。先般議会では東京都奥多摩町に行ってきた。定住促進、空き家対策で同じような施策を講じながら、なぜ出雲崎は注目されないのか？町長は疑問に思ったことはないか？

町長 マスコミの効果は必要だ。息の長いPRが大事だ。小さな町の挑戦として根付かせる。目標は達している。

ナニを売り込むか？

高橋 一言でいうと住みやすい良い所、ということしかない。これを売り込むのがトップセールスではないか？

徹底的に行動する！

町長 それが勝負だと思っている。高齢化が進んでいる。過疎だ。しかしその中で総合戦略の3つの大きな項目を挙げている。徹底的に行動に移していく。直にいろいろな人と触れ合うことにより輪を拡げ



三輪 正 議員

ゼロカーボンの町実現を

町長

エコパーク跡地に 環境学習体験施設を要望

当町の太陽光と 風力発電は

三輪

地球温暖化により世界中に大きな被害を及ぼしている。台風19号、昨年の高温やオーストラリア、アメリカの山火事など多発している。

一番の原因として二酸化炭素（CO₂）の増加が大きく、各国は阻止に取り組んでいる。

当町はエコパークが立地し山林面積も多く、それらを生かして、日本で一番環境にやさしい町（ゼロカーボン）、出雲崎を目指すべきと考える。

当町の自然再生エネルギー（太陽光発電）の現状と元リーダー基地跡（芝峠）での風力発電所調査について伺う。

東京ガスが風力調査中

町長 太陽光は町の下水処理場、旧尼瀬グラウンド、

小竹、市野坪、船橋地内とエコパーク埋立地に約2千KWの発電所が稼働している。風力発電は東京ガスが芝峠で風力の調査中である。

カーボンオフセット 取組を

三輪

町内3000ヘクタールの山林を生かして、間伐整備による「カーボンオフセット」の登録で、森林整備により削減される二酸化炭素を企業などに売却して、その資金を整備に回す、システムを導入すべきと考えるが。

所有者、森林組合と検討

町長

温暖化阻止に有効と考えるが、この制度の要件のクリアが難しいので、所有者、森林組合などと可能かどうか検討を進めている。

一〇メモ

★ゼロカーボンとは？

地球温暖化によるリスクを低減し、持続可能な未来を実現するため、2050年までに二酸化炭素（CO₂）排出の実質ゼロを目指す。

★カーボンオフセットとは？

自ら排出した二酸化炭素を森林整備などの削減活動に投資（クレジット購入）することで排出される、温室効果ガスを相殺するという考え方。

エコパーク跡地に 環境学習施設を

三輪

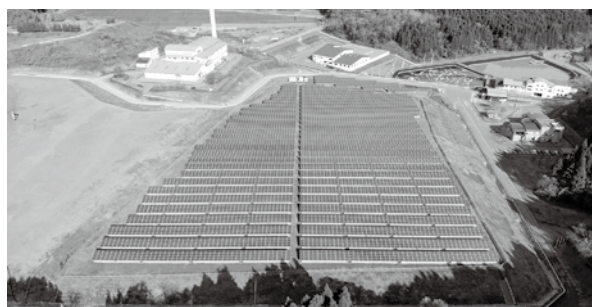
2期埋立地の活用について県は検討中と聞きますが、町の活性化のため「環境学習展示施設」を県に要望してほしい。エコパークでの太陽光発電や東京ガスの風力発電所や隣接する林道船橋田中線周辺で進む間伐、広葉林整備など

計画策定に関わっていく

町長

来年度より県はエコパークの跡地利用の基本計画構想策定に取り組む予定で、町も策定に関わっていく。私もご提案の施設を進めるべきと考えており、県との協議の中でしっかりと反映していく。

活用して、出雲崎での取り組みをアピールすべきと考えるが町長の考えを伺う。



エコパークの太陽光発電所

町長の考える 「トップセールス」とは



小黒 博泰 議員

町長

外部へのトップセールスを 目標に行動

町長の考える
「トップセールス」とは

小黒 町長選も3回連続で無投票に終わり、9期目の全国最高齢の首長となり、マスコミ関係などで一躍有名人になっている時で、出雲崎を今まで以上にPRするチャンスと考える。

新年の挨拶の中でも、「外に向けトップセールスを積極的に展開します。」とあり、最近も様々な場面でトップセールスの言葉を聞くが、町長の考えるトップセールスとはどういうものなのか考えを伺う。

外部へのセールスを
目標に行動したい

町長 9期目を皆さんのご協力で当選をさせていた。併せて、全国最高齢ということで、いろいろな場面で取り上げられている。

町民の皆さんも9選となると、長きは水がよどむというところ、高齢で果たして前進があるのかと心配をされている方が沢山いると思う。その気持ちは十分理解しているが、それを逆手にとり一つの看板にしながら、



セールスイメージ

小さな町でも町民とも一緒になって全力で頑張っていることをPRしていきたい。特に取り組みたい事は、企業版ふるさと納税で、各企業に積極的に訪問し、結果は分からないが行動を起こしていきたい考えで、検討している。

町民に対するトップセールスが
一番と考えるが

小黒 町長は外部に対してのトップセールスが一番と言うが、第2期総合戦略等の中で、これからは若い方・女性・妊婦さん等々、地域に向いての話し合いの中で意見を十分聞き総合戦略に反映し、この町を良くしようとする中で、企業版ふるさと納税の企業訪問は当然の事で、最初に町民に対するトップセールスが一番と考えるが。

足元を固めることは当然

町長 あらゆる場面を想定しながら、まず足元を固めることは当然と考える。最もこれから活躍して頂きたい、将来を託す若者、子供さんのいる女性など、皆さんが本当にこの町に住み生き続け、リーダーとして頑張ってもらえるような町づくりをしたいことが私の基本である。

町民と会話する集会を開催し、基本的な考えを申し上げながら町に対する理解と提言を頂き、町をよくするため皆さんのお力を借りたい事と併せ、外部的にも働きかけをしたい。

小・中・高校生のセールスも
必要と考えるが

小黒 北海道の知内町の町長は、地場産業の担い手確保のため高校に出向き、町の情勢などを分かりやすく説明し、町に残り産業を引き継いでもらうための講話を行っている。そういう事が町民に対するトップセールスと考えるが、町長の考えは。

できる限りの対応を
していきたい

町長 十分自覚している中で、行動を起こす企画を組んでいる。意欲のある人たちの気持ちをしっかりと吸い上げながら、できる限りの対応をしていきたい。やはり夢をかなえる、希望に応えられる様な事をやっていけば、町に若者が住みついて、子育てもできる要因になると思うので、その点は十分理解してやっていきたい。

小黒 若い人達が本当に、ざっくばらんに町長と話ができる場を是非つくって頂きたい。



安達 一雄 議員

新型コロナウイルスの 町内感染対策について

町長

町として対策本部を設け 迅速かつ適切な措置を取る

新型コロナウイルス

町内は大丈夫か

【安達】世界中や日本各地で新型コロナウイルスが拡散している。新潟県内も感染者が出ていますが、自治体職員や学校関係者が感染した場合の対策及びマニュアル作成が急務であると考えて、町としてどのような様な考えであるのかを伺う。

【町長】新型コロナウイルス感染症の拡大は、本当に住民生活や経済活動に大きな影響を与えている。町としても対策本部を設け、状況に応じ迅速かつ適切な措置を取る。

教職員が感染した、または濃厚接触者と特定された場合においては、学校は感染症対策の対応の流れを通知に基づいて臨時休業や出勤停止の決定保護者への説明、校舎内の消毒、健康観察などを行う事になりその際、学校での詳細は行動マニュアルにより、国、県の通知や県保健所あるいは学校への指導の下に、対応する。

県内でも感染・発症した

【安達】新潟県でも、感染者が出ています。

今後でも感染する心配がある。当町に一人も感染者が出ないように万全の予防策を講じてもらいたい。

また学校が休みになっていのに児童クラブを稼働させて大丈夫なのかを伺う。

【町長】児童クラブについては、共働き家庭などの留守家庭の小学校に就学している児童を対象としており、特に低学年の児童は留守番する事が困難な場合や、学校と異なるものがあることから、感染予防に留意して、原則として開所するよう国から通知されている

マスクが無い

【安達】町長も承知のとおり、薬局やスーパーではマスクが売切れ状態で、親は仕事でマスクが必要であり、子供の分のマスクが無い状況である。備蓄してあるマ

スクも少なくなり困っていた。学校に予備マスクを常備して欲しいとの声があるが、町の考えを伺う。

【教育課長】学校でも備蓄している。有る物は使うという対応をしている。役場にも以前購入したマスクが若干あり、そうしたものを使いながら、何とかこの局面を乗り切りたいと考えている。

【安達】学校が休校し、児童が家庭にいるため、食費が大きく増加している状態だ。子供のいる家庭に町として何か支援する考えがあるかを伺う。

【町長】それに対する休業補償など国は補填するということなので、町として独自の対応は考えていない。

【安達】休校により授業日数等が不足することになり、その分はどのような形で補うのかを伺う。

【教育課長】学校が始まってから進級したところで、不足分の授業を行うという形を国も認めているので、そ

うした対応をやっていきたい。

町内の中小企業の

支援が必要

【安達】感染症により、観光業や製造業に影響を及ぼしている。

町内観光施設や飲食業、宿泊関係への影響が出た場合、町として支援する考えはあるのか。また町の景気対策について伺う。

【町長】観光地の宿泊施設ではキャンセル等により、損害が発生している事が連日報道され、一日も早い終息に我々も協力していく。出雲崎町の経営基盤は安定していると考え、国からの中小企業継続の為の制度を活用し、不足する部分については、商工会や業者の皆さんと連携して対応していきたい。

「コロナショック」
3つの密

- ◎密集
- ◎密接
- ◎密閉

トップセールスで 雇用の創出を



高桑 佳子 議員

町長

待つ身ではなく、積極的に出向いて

町家オフィスを 強く推し進めて

高桑 令和2年度から始まる第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略事業のなかで、「しごと」の創生というのが、一番少ないと感じている。

その部分について、トップセールスで、足がかりを作っていたきたいと考えている。

会社に出勤せず、自宅で仕事を行うテレワークが注目されている。コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急に導入する企業も増えている。さらに進むであろう。企業から離れた場所に小さなオフィスを設置する「サテライトオフィス」も注目されている。

総合戦略事業には「町家オフィス誘致支援事業」があるが、その評価指数は5年間で1事業、地元雇用2人と見積もりは少ない。町としては非常にメリットがあるし期待している。もつと強く進めるべきと思うが、町長はどう考えるか伺う。

町長 サテライトオフィスの誘致には、積極的に進めるということで取組んできた。石井町の町有物件を活用しようと調査したところ、考えていた以上に傷んでおり、開設するには難しく断念せざるを得なくなった。

高桑 海岸地域にも西越地域にも対象となる空き家が多い。整備してお渡しするのではなく、例えばそのまま提供して、改修に対して補助をする方が良いのではないか。出雲崎には海も山もあり、豊かな自然がある。地域資源のメリットを活かして展開して欲しい。

コールセンターの 誘致はどうか

高桑 町家オフィスの一つとしてコールセンターは誘致できないか。インターネットでの購入やテレフォニショッピングは今や当たり前になっている。その窓口やフォローを担うコールセンターの役割は大きい。誘致できれば、かなりの雇用が見込めるのではないか。

町長 小規模なものであれば、大都市圏のオフィスで事が足りるため、中から大規模なコールセンターを設置した方が、企業としてはメリットがある。町としてそのような大きな区画・分譲は行えない。

また、従業員や駐車場の確保も難しい。北スマートインター流通産業団地の動向に注目しながら、その居住の受入先として選ばれるまちづくりに傾注していきたいが、当町を立地の候補とする企業がなければ、積極的に応じていきたい。

高速通信網の さらなる整備を

高桑 高速通信の発達は目を見張るものがある。10年前に当町の光ファイバーを整備した際、NCTと競合し、事業費の違いからNCTになったときいている。NCTは現在、格安で多様なサービスが受けられる。NCTとも提携して光ファイバー通信を利用してのサービスも可能と聞く。今後の整備に検討していただきたい。

町長 Wi-Fi環境は、町内13ヶ所の公共施設で整備を完了している。総合戦略のなかでも、町の宿泊施設環境整備促進補助事業を創設する予算を計上している。面的な整備は今のところ考えていないが、AIの時代に遅れをとらないよう、考慮していく。





委員会 視察・調査報告

1/29

社会産業常任委員会

心月輪・農産物加工場



委員（5名）全員で観光施設「心月輪」と農産物加工場の営業、運営状況を視察しました。

心月輪内レストランは松永組合長より、昨年下半年より開始した「ワンコイン弁当」の販売状況について、12月は91万円で1日最大で150食、平均80食。配達地域は出雲崎約5%、柏崎刈羽65%、長岡市30%で銀行、病院、薬局、学校などで女性が多く、ヘルシーメニューが好評です。配達は約300軒。委員からは①弁当事業の取組、実施について高評価であるが、配達コストの低減が必要。

②本業のレストラン客を増加する努力が必要。等の意見がありました。次に小木地区内にある越後さんとう農協運営の農産物加工場で担当者より稼働状況について説明を受けました。

稼働日180日、生産は味噌教室分6・2トン、販売味噌2・4トン、梅干0・7トンと少なく、施設も老朽化が進んでいます。委員より稼働率アップの対策が必要と意見がありました。委員会としては両施設の売上額や稼働率アップについて今後も注視してまいります。社会産業常任委員長 三輪 正

2/19

総務文教常任委員会

出雲崎小・中学校通学路



国道352号線外灯視察

2月19日に、通学路における危険箇所や外灯設置予定場所を視察しました。小中学校から要望のあった8ヶ所のうち3ヶ所は、令和2年度に設置予定だが、5ヶ所については、電気料や電柱設置費用等、地域での負担もあるもので、よく理解・共有の上、進めることが大事であると教育課より説明を受けました。

○現地視察を終え、以下の意見がありましたので、報告します。
○設置する外灯予算は、教育課所管ではなく、維持管理の観点から総務課所管で予算範囲内とのことだが、設置費用については教育課所管とすべきとの意見がありました。
○限られた予算で行うので、1ヶ所でも多く設置できるように、設置経費単価の圧縮に取り組んでもらいたいとの意見がありました。
○オブザーバー参加の学校長より通学路以外でも日常暗く危険と思われる箇所があるので、その箇所についても設置を検討していただきたいとの意見がありました。
○視察した箇所については、全委員より設置が必要と全会一致し、執行部に対し強く要請します。総務文教常任委員長 中野 勝正

令和元年度 政務活動費報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支出内訳				合計	返納金
		調査研究費	研修費	資料購入費	事務費		
仙海 直樹	60,000	48,170	0	19,770	700	68,640	0
高桑 佳子	60,000	56,070	18,000	20,952	1,700	96,722	0
小黒 博泰	60,000	48,170	0	18,192	1,000	67,362	0
中川 正弘	60,000	31,010	0	46,200	0	77,210	0
中野 勝正	60,000	48,340	0	19,668	4,632	72,640	0
高橋 速円	60,000	31,010	0	48,000	1,000	80,010	0
諸橋 和史	60,000	48,170	0	18,192	1,700	68,062	0
加藤 修三	60,000	44,420	0	30,990	1,700	77,110	0
三輪 正	60,000	31,010	0	48,000	0	79,010	0
安達 一雄	60,000	48,170	0	18,192	1,700	68,062	0

月額5,000円×令和元年度活動月数（12カ月）で交付

世

間では72才そんな年になったかと言われる事が多々有るが、心中はまだ72才と言いつけて聞かせている。そうした陽天志向の気持ちで精神的な若返りの秘訣と思われる。またそれが起爆剤となり、趣味のバイクで日本一周もやり遂げ、余暇を農作業と過ごす最適な本町と巡り合った次第で

す。

本町は里山を始めとし、四季の空気が肌身を通して感じる町、言い換えれば自然の造形美を時系列的に体感可能で、自然と心が和む所で有ります。また視点を変えれば歴史文化等種々の潜在的な宝が温存されていると申しても、過言ではない魅力が有り、実態を知られば住

みたくなる町、住みたい町へと、変遷する魅力が内在していると思料されます。

県外から居住の用に供する為に来た者に取つての魅力は、心の資産と感じられます。町民を知る町議会は、今後様々な問題と対峙を余儀なくされますが、是非取組の一助として「和を以て尊しとなす」を運営の糧にしたいだければ幸甚に存じます。末筆ではございますが、議会運営の御活躍をご祈念申し上げます。

みんなの声

本町に魅せられて

松本

やまもと けいぞう
山本 恵三



坂東さんのユーチューブは「地方での素朴暮らし」で検索するか、スマートフォンで右のQRコードを読み取ってください。



表紙の小話

待ちに待った「地域おこし協力隊員」が我が町にも来てくれました。坂東拓哉さん、25歳です。

議会では、町の課題を先進地に学ぶため、視察研修に出かけていますが、そこで地域おこし協力隊員が活躍する自治体を目の当たりにしては、出雲崎町にも「いつか必ず来て欲しい」と強く願っていました。

ご覧のとおり、なかなかの好青年！本年2月1日に着任し、既に多方面で活動をされています。また、SNSやユーチューブで、出雲崎町の情報発信を始めました。これからの活躍を期待しています。
(高桑佳子)

編集後記

今年はおリンピック、パラリンピック開催で、世界から沢山の人が訪れ、日本の良さをアピールする絶好の年と期待しておりますが、新型コロナウイルスにより世界中がパニックとなり、オリンピック開催が一年延期となりました。

議会では「出まえ議会」でもお話ししましたが、議員のなり手不足解消に向けて、議会内に検討委員会を立ち上げて、継続して会議を行っております。

過去2回無投票という結果に町民の皆さまより「町の発展と議会の活性化にも、是非とも多くの方から手を挙げてほしい」と声が多くあります。

議会では日常の活動を活発にする事により、関心を持っていただく事が大切と考え、出まえ議会の改善、議会モニター増員(10名)など検討しております。ぜひ皆さまの御意見をお聞かせ下さい。
(三輪 正)

「議会だより」は本会議(3・6・9・12月)の翌月下旬に発行し、翌々月上旬に、各戸配布しております。
発行日には役場ロビー、陽だまり、妻入会館に配置してありますのでご利用ください。

議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 安達一雄
委員 中野勝正
委員 三輪 正
委員 小黒博泰

議会だより発行予定

発行は年4回。発行日は4月23日・7月25日・10月23日・1月23日です。

議会の傍聴にぜひおいでください。

発行/新潟県出雲崎町議会 責任者/議長 仙海直樹 編集/議会報特別委員会 題字/南波秋海 印刷/北越印刷株

〒949-4392 (専用) 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地 TEL.0258 (78) 3112 FAX.0258 (41) 7322 HP <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>